

第1会場：国際会議場ホール (会議棟 7階)

9:00～11:45 教育セッション III

学際的な知見を、医療の質と安全確保にどう生かすか、今後の課題は何か

9:00～10:00 講演1：航空・原子力産業から医療現場に入って感じたこと

座長：坂口 美佐 (滋賀医科大学 医学部附属病院医療安全管理部)

航空・原子力産業から医療現場に入って感じたことー具体的な安全対策の提言ー

河野 龍太郎 (自治医科大学医学部メディカルシミュレーションセンター センター長
医療安全学教授)

10:05～11:45 講演2：医療への質マネジメントアプローチ

座長：矢野 真 (武蔵野赤十字病院 呼吸器外科部長)

1 医療への質アプローチ～その基本的考え方と方法論

飯塚 悦功 (東京大学)

2 医療の質マネジメントシステムモデルQMS-H

棟近 雅彦 (早稲田大学理工学術院 教授)

3 臨床知識構造化フレームワークPCAPS

水流 聡子 (東京大学)

13:00～14:30 シンポジウム III

医療の質・安全確保のためにIT戦略はいかにあるべきか

座長：吉田 茂 (名古屋大学医学部附属病院 メディカルITセンター長(旧医療経営管理部准教授))
杉浦 立尚 (名古屋大学医学部 医学系研究科 血液・腫瘍内科学)

1 電子カルテ環境下における病院情報システムと医療の質・安全確保

武田 裕 (大阪大学大学院医学系研究科医療情報学講座)

2 BSCによる質向上を目指したIT実践組織の育成

宮原 勅治 (神戸市立医療センター中央市民病院 外科(兼)医療情報部)

3 ユーザー主導によるインシデントレポートシステムの構築

福井 トシ子 (杏林大学医学部付属病院 看護部)

4 医療安全 VS 利便性 -ITはどちらの味方か-

吉田 茂 (名古屋大学医学部附属病院 メディカルITセンター長
(旧 医療経営管理部 情報管理室長))

指定発言 臨床医から見た電子カルテ ～臨床研究の視点から～

杉浦 立尚 (名古屋大学医学部 医学系研究科 血液・腫瘍内科学)

14:40～16:00 教育セッション IV

医療安全と医療経済

座長：長谷川 敏彦 (日本医科大学 医療管理学教室)

1 医療安全と医療経済

田中 滋 (慶應義塾大学 大学院経営管理研究科 教授)

2 医療安全と医療経済

高木 安雄 (慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科)

16:10～17:50 シンポジウム

医学系学会はこれからどのように医療安全に取り組むか

座長：高久 史磨 (医療の質・安全学会 理事長、自治医科大学 学長)
井部 俊子 (聖路加看護大学 学長)

1 診療関連死の調査分析モデル事業を中心に

山口 徹 (虎の門病院、日本内科学会モデル事業中央事務局長)

2 医療安全の取り組みとこれからの課題ー外科の立場からー

里見 進 (日本外科学会理事長 東北大学病院長)

3 医療安全の取り組みとこれからの課題

岡井 崇 (日本産科婦人科学会)

4 小児科：医療安全への取り組みとこれからの課題

横田 俊平 (日本小児科学会理事長、横浜市立大学大学院医学研究科発生成育小児医学教授)

17:50～ **ベストプラクティス賞表彰式**
 ベストトライアル賞表彰式

第2会場：会議室605 + 606 (会議棟 6階)

9:00～11:45 ワークショップⅡ

各分野における安全確保 (午前の部)

9:00～10:30 ①医療機器の安全管理「患者の安全・安心に配慮した医療機器の実践的 使用法」

座長：佐藤 景二 (静岡市立静岡病院 臨床工学科)

杉山 良子 (武蔵野赤十字病院医療安全推進室専従リスクマネージャー)

1 医療機器の安全管理体制の標準化

本間 崇 (社団法人日本臨床工学技士会 横浜第一病院 臨床工学部)

2 人工呼吸器の安全管理

田口 彰一 (医療法人社団田口会新橋病院 ME管理室)

3 輸液ポンプ、シリンジポンプの安全管理

那須野 修一 (横浜労災病院)

4 病棟モニターアラームの問題点と当院での対策

綿引 哲夫 (横浜市立脳血管医療センター 臨床工学室)

5 血液浄化機器の安全管理

江村 宗郎 (東葛クリニック病院 臨床工学部)

6 人工心肺装置の安全管理

吉田 靖 (大阪労災病院 臨床工学室)

10:35～11:45 ②検査の安全を確保する

座長：小沼 利光 (東京都済生会向島病院 医療技術部)

1 患者さんと直接関わる生理検査の安全確保

町田 幸雄 (日本医科大学千葉北総病院中央検査室生理機能センター)

2 高磁場MR装置による検査の安全確保と課題

廣瀬 哲雄 (京都大学医学部附属病院放射線部)

11:50～12:50 ランチョンセミナー

座長：種田 憲一郎(国立保健医療科学院政策科学部安全科学室 室長)

「My journey as an advocate for safe patient care — how to make a palpable culture change in your organization —
安全な患者ケアのアドボケート(提唱者)としての道のり—いかに手ごたえのある組織文化の変革をもたらすか—」

Timothy B. McDonald, MD JD
(Chief Safety and Risk Officer for Health Affairs, University of Illinois Professor,
Anesthesiology and Pediatrics, University of Illinois College of Medicine at Chicago)

13:00～17:50 ワークショップⅡ

各分野における安全確保 (午後の部)

13:00～14:20 ③薬剤業務のIT化と業務分担「薬剤業務補助者の活用とIT化による安全の確保—薬剤師の果たすべき役割—」

座長：黒山 政一 (北里大学東病院 薬剤部)

- 1 薬物治療における安心・安全を担保するために—薬剤師の担うべき役割と使命—
佐々木 忠徳 (亀田総合病院 薬剤管理部)
- 2 ベッドサイド薬剤業務の安全性・業務効率向上と自動認識技術
近藤 克幸 (秋田大学医学部附属病院 医療情報部)

14:30～16:00 ④食の安全を確保する「病院食の質と安全の保証—栄養士・看護師の役割と責務—」

座長：酒井 美絵子(日本赤十字看護大学)

- 1 栄養士のチーム医療への貢献で医療の質はこんなに向上する！
幣 憲一郎 (京都大学医学部附属病院 疾患栄養治療部)
- 2 安全な患者食提供へのアプローチ
佐藤 ミヨ子 (杏林大学医学部付属病院 栄養科)
- 3 ベッドサイドの誤嚥防止ケアの徹底とスタッフ教育
小久保 佳津恵 (社会保険中京病院 摂食・嚥下障害看護認定看護師)

指定発言 食の安全を確保する

中村 丁次 (神奈川県立保健福祉大学教授)

16:10～17:50 ⑤連携して地域の安全を確保する
「地域格差・規模格差を乗り越える医療安全相互支援ネットワーク」
座長：小林 美雪 (山梨県立大学 看護学部)

- 1 訪問看護の中での地域連携の取り組みと課題
雨師 みよ子 (河内医師会訪問看護ステーション 管理者)
- 2 『出産の安全性と快適性を求めて』 ー日赤医療センターでの開業助産師によるオープンシステムー
神谷 整子 (みづき助産院)
- 3 民間中小病院におけるITを活用した医療安全への取り組み
櫃石 秀信 (神鋼加古川病院事務室医事Gr.)
- 4 実践知を共有し合うゆるやかなネットワークの構築ー山陰リスクマネジメント研究会の取り組みー
内田 宏美 (島根大学医学部看護学科)
- 5 医療安全のための地域相互協力ネットワーク構築の取り組み
笠井 英美 (医療法人慈光会 甲府城南病院副看護部長 (山梨医療安全研究会副会長))

18:10～21:20 ミニコース

全体コーディネータ：花井 恵子 (北里大学病院 医療安全管理室)
セッションコーディネータ：團 寛子 (大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部)

- 18:10～19:40 D-1：多数事例の分析手法1 (エラーマップと分析の枠組みについて)
講師：川村 治子 (杏林大学保健学部 救急救命学科)
- 19:50～21:20 D-2：「与薬エラー発生要因マップ：注射編(注射エラーマップ)」を用いた
分析の検討
講師：寺井 美峰子 (聖路加国際病院 医療安全管理室)
古田 康之 (亀田メディカルセンター 医療安全管理室)

第3会場：会議室607 (会議棟 6階)

9:00～10:00 一般演題：口演 第11群

質・安全の教育/研修/人材育成①：救急蘇生

座長：藤盛 啓成 (東北大学病院 医療安全推進室)

- 11-1 AED設置による院内救急対応の人材育成への効果 事例検証会により人材を育成する
○大竹 美恵子、中野 八重美
東京医科大学病院 安全管理室

11-2 心肺蘇生教育における再学習支援～学びを支える2つの柱の作り方～

○佐久間 あゆみ¹⁾、野田 省二¹⁾、和田 一枝¹⁾、大石 奨²⁾、野田 小百合³⁾、杉浦 立尚⁴⁾

¹⁾社会福祉法人恩賜財団済生会 愛知県済生会病院 看護部、²⁾豊田市消防本部、

³⁾津島市民病院 看護部、

⁴⁾名古屋大学医学部 大学院医学系研究科 病態内科学講座 血液・腫瘍内科学

11-3 ピンチはチャンス!! 救急蘇生集団ゼロからトップへ

○柳田 和宏、小野 健史、桐原 美穂、高橋 喜美子、田村 宗嗣、黒木 佑二、工藤 千草、松澤 伸治、平田 耕太郎

医療法人久康会 平田病院

11-4 多様な職員のライフスタイルに配慮した院内全職員教育～時間内を保証した救急蘇生講習会の推進～

○野田 小百合¹⁾、岩田 健²⁾、杉浦 立尚³⁾、佐久間 あゆみ⁴⁾、大石 奨⁵⁾

¹⁾津島市民病院 看護局、²⁾津島市民病院 診療局、

³⁾名古屋大学大学院 医学系研究科 病態内科学講座 血液・腫瘍内科学、

⁴⁾社会福祉法人恩賜財団済生会 愛知県済生会病院 看護部、

⁵⁾豊田市消防本部 足助消防署下山出張所 警防1担当

11-5 参加体験型講習会にて教育効果を高めるための手段開発～初の試み、インストラクショナルデザインを用いたEラーニング学習の作成～

○大石 奨¹⁾、杉浦 立尚²⁾、佐久間 あゆみ³⁾、野田 小百合⁴⁾、中田 克治⁵⁾

¹⁾豊田市消防本部、²⁾名古屋大学医学部 大学院医学系研究科 病態内科学講座 血液・腫瘍内科学、

³⁾社会福祉法人恩賜財団済生会 愛知県済生会病院 看護部、⁴⁾津島市民病院 看護局、

⁵⁾トヨタ記念病院 麻酔科

11-6 Web 2.0を用いた新しい医療の質改善の試み～全国からの善意の集合は医療を変えるのか?～

○杉浦 立尚¹⁾、中馬 実侑紀²⁾、佐久間 あゆみ³⁾、野田 小百合⁴⁾、大石 奨⁵⁾

¹⁾名古屋大学医学部 大学院医学系研究科 病態内科学講座 血液・腫瘍内科学、

²⁾トヨタ自動車株式会社 メディカルサポート部 人事グループ、

³⁾社会福祉法人恩賜財団済生会 愛知県済生会病院 看護部、⁴⁾津島市民病院 看護局、

⁵⁾豊田市消防本部

10:10～11:00 一般演題：口演 第12群

質・安全の教育/研修/人材育成②：リスクマネージャー

座長：寺井 美峰子 (聖路加国際病院)

12-1 「専任リスクマネージャーの職務態度測定尺度」を用いた調査報告(1)－専任リスクマネージャーとリスクマネージャーの比較検討－

甲斐 由紀子¹⁾、○秋好 美代子²⁾、田畑 千穂子³⁾、三沢 良⁴⁾、山口 裕幸⁵⁾

¹⁾宮崎大学 医学部附属病院 医療安全管理部、²⁾九州大学病院 医療安全管理部、

³⁾鹿児島大学病院 医療環境安全部、⁴⁾九州大学大学院 人間環境学府、

⁵⁾九州大学大学院 人間環境学研究院 人間科学部門 心理学講座

12-2 「専任リスクマネジャーの職務態度測定尺度」を用いた調査報告(2)－専任リスクマネジャーの自己評価と上司による他者評価の比較検討－

甲斐 由紀子¹⁾、秋好 美代子²⁾、○田畑 千穂子³⁾、三沢 良⁴⁾、山口 裕幸⁵⁾

¹⁾宮崎大学 医学部附属病院 医療安全管理部、²⁾九州大学病院 医療安全管理部、

³⁾鹿児島大学病院 医療環境安全部、⁴⁾九州大学大学院 人間環境学府、

⁵⁾九州大学大学院 人間環境学研究院 人間科学部門 心理学講座

12-3 「専任リスクマネジャーの職務態度測定尺度」を用いた調査報告(3)－専任リスクマネジャーの経験年数別比較検討－

○甲斐 由紀子¹⁾、秋好 美代子²⁾、田畑 千穂子³⁾、三沢 良⁴⁾、山口 裕幸⁵⁾

¹⁾宮崎大学 医学部附属病院 医療安全管理部、²⁾九州大学病院 医療安全管理部、

³⁾鹿児島大学病院 医療環境安全部、⁴⁾九州大学大学院 人間環境学府、

⁵⁾九州大学大学院 人間環境学研究院 人間科学部門 心理学講座

12-4 国公立大学附属病院リスクマネジャー研修から見る今後の医療安全教育の方向性

○團 寛子¹⁾、中島 和江¹⁾、高橋 りょう子¹⁾、岡田 美紀¹⁾、武田 裕²⁾、東堤 忠勝¹⁾

¹⁾大阪大学 医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部、

²⁾大阪大学 医学部附属病院 医療情報部

12-5 医療安全のための職員研修の実施状況と医療安全専従者の配置状況の関連性

○福田 治久^{1,2)}、今中 雄一¹⁾

¹⁾京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野、²⁾日本学術振興会 特別研究員DC

11:10～11:40 一般演題：口演 第13群

質・安全とコスト/医療経済

座長：池田 俊也 (国際医療福祉大学)

13-1 持参薬鑑別による入院安全投薬および経済効果

○陳 柏廷¹⁾、中野 和佳²⁾、荻無里 千史²⁾、白澤 吉哲²⁾

¹⁾慈泉会相澤病院 広報・統計統括部、²⁾慈泉会相澤病院 薬剤情報管理センター

13-2 当院における医療安全管理のためのコストの試算

○久田 友治、國吉 ひろみ

琉球大学 医学部附属病院 安全管理対策室

13-3 転落・転倒による医療資源の損失－過去2年間のインシデントレポートから－

○日比 美由紀¹⁾、石橋 美紀¹⁾、兼児 敏浩¹⁾、木田 博隆²⁾、竹田 寛¹⁾

¹⁾三重大学医学部附属病院 安全管理部、²⁾三重大学 地域保健医療センター

11:50～12:50 ランチョンセミナー

共催：日本精神科看護技術協会

座長：末安 民生 (慶應義塾大学看護医療学部)

「医療事故における従事者への心のケアと裁判過程の中での立ち直り」

浅田 眞弓 (松岡・浅田法律事務所 社団法人 日本精神科看護技術協会 顧問弁護士)

13:00～13:50 一般演題：口演 第14群

質・安全の教育/研修/人材育成③：その他

座長：甲斐 由紀子 (宮崎大学 医学部附属病院 医療安全管理部)

- 14-1** ワークアウト研修で医療安全の推進は図れるか。
○三村 哲重、水川 俊一、千田 茂樹、茅原 幸子
岡山済生会総合病院
- 14-2** 医療現場における安全に関する「看護師Competency評価表」によるコンピテンシーの向上に向けて
○河上 淳子
東京都清瀬小児病院
- 14-3** 教育効果を持たせた電子カルテ入力支援テンプレート作成の試み
○富田 弘道¹⁾、池辺 良重²⁾、山本 陵平¹⁾、松村 泰志²⁾、武田 裕²⁾、長澤 康行¹⁾、
今井 圓裕¹⁾、猪阪 善隆¹⁾、中島 和江³⁾
¹⁾大阪大学 医学部附属病院 腎臓内科、²⁾大阪大学 医学部附属病院 医療情報部、
³⁾大阪大学 医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部
- 14-4** 臨床評価指標のデータ抽出及び算出プロセスに関する分析
○中島 和江¹⁾、高橋 りょう子¹⁾、團 寛子¹⁾、上田 郁奈代²⁾、武田 裕²⁾、山崎 竹視³⁾、
皆川 芳輝³⁾、Ma Xiaojun³⁾
¹⁾大阪大学 医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部、
²⁾大阪大学 医学部附属病院 医療情報部、³⁾富士ゼロックス株式会社

14:00～15:00 一般演題：口演 第15群

質・安全の教育/研修/人材育成④

座長：庄子 由美 (東北大学病院 重症病棟部 ICU1)

- 15-1** 看護・医療安全教育におけるリスクコミュニケーション技術の開発(第1報)
○石川 倫子¹⁾、衣川 さえ子¹⁾、岩本 郁子²⁾
¹⁾厚生労働省 看護研修研究センター、²⁾国立病院機構 東京医療センター附属東が丘看護助産学校
- 15-2** 看護・医療安全教育におけるリスクコミュニケーション技術の開発(第2報)
○石川 倫子¹⁾、衣川 さえ子¹⁾、岩本 郁子²⁾
¹⁾厚生労働省看護研修研究センター、²⁾国立病院機構 東京医療センター附属東が丘看護助産学校
- 15-3** リスクコミュニケーションにおけるリスク対応の意思決定に及ぼす安全風土の検討
～A大学採血用穿刺器具の使用事例の分析から～
○横手 芳恵¹⁾、山本 奈奈²⁾、山田 隆子¹⁾、林 千加子³⁾
¹⁾岡山県立大学保健福祉学部看護学科、²⁾岡山県立大学保健福祉科学研究科看護学専攻、
³⁾岡山県立大学保健福祉学部看護学科、⁴⁾川崎医療短期大学

15-4 看護教育における医療安全のゲーミング・シミュレーションの開発－教育者の視点からの評価

○田中 共子¹⁾、兵藤 好美²⁾

¹⁾岡山大学 社会文化科学研究科、²⁾岡山大学 保健学研究科

15-5 若年看護師向け医療安全教育へのeラーニングの活用に関する研究

○川村 治子¹⁾、八重樫 文²⁾、里見 慶³⁾、稲葉 千恵美⁴⁾、片山 美緒³⁾、久松 慎一⁵⁾

¹⁾杏林大学 保健学部 救急救命学科、

²⁾立命館大学 経営学部 環境・デザインインスティテュート、

³⁾武蔵野美術大学 造形学部 デザイン情報学科、

⁴⁾武蔵野美術大学 造形学部 基礎デザイン学科、⁵⁾東京大学 情報学環

15-6 大学附属病院における全職員を対象としたe-Learning医療安全管理教育の有用性と問題点

○古川 政樹、田中 克明、金子 猛、石戸谷 淳一、長谷川 修、天内 廣、岡田 共子、寺崎 仁、橋本 真也

横浜市立大学 附属市民総合医療センター YUMESUMAプロジェクトチーム

15:10～16:10 一般演題：口演 第16群

質・安全の教育/研修/人材育成⑤：KYT

座長：荒井 有美 (北里大学病院 医療安全管理室)

16-1 医学部における医療安全教育ービデオを用いたプロセス危険分析演習の導入

○大川 淳、野村 徹、長井 健人

東京医科歯科大学 大学院 医歯学総合研究科 臨床医学教育開発学

16-2 医療における危険予知トレーニングシートの設計方法に関する研究

○梶原 千里¹⁾、棟近 雅彦¹⁾、金子 雅明¹⁾、杉山 良子²⁾

¹⁾早稲田大学大学院 創造理工学研究科 経営システム工学専攻、

²⁾武蔵野赤十字病院 医療安全推進室

16-3 危険予知に関する学生と看護師経験者との比較分析

○兵藤 好美¹⁾、迫田 裕子²⁾

¹⁾岡山大学大学院 保健学研究科、²⁾岡山大学大学院文化科学研究科 博士課程

16-4 KYT基礎4ラウンドの研修効果 Effect of training of the fourth KYT base round

○山本 直子¹⁾、上谷 幸子²⁾

¹⁾三田市民病院 医療安全管理室、²⁾三田市民病院 看護部

16-5 新入職者オリエンテーションにおける注意特性の理解とヒューマンエラー講義導入の試み

○梶総 淳子¹⁾、石松 一真²⁾

¹⁾獨協医科大学 越谷病院 救命救急センター、²⁾独立行政法人 労働安全衛生総合研究所

16-6 ヒューマンエラー関連研修の効果測定を試み

○竹内 嘉浩¹⁾、三沢 良²⁾

¹⁾横浜市立大学大学院 医学研究科、²⁾九州大学大学院 人間環境学府

18:10～21:20 ミニコース

全体コーディネータ：花井 恵子 (北里大学病院 医療安全管理室)

セッションコーディネータ：安井 はるみ (神奈川県看護協会 医療安全対策課)

18:10～19:40 B-1：医療安全体制整備の考え方と今後の課題—米国の最近の情報を踏まえて—

講師：長谷川 敏彦 (日本医科大学医療管理学教室)

19:50～21:20 B-2：事例分析を成功に導く体制・環境づくり

講師：種田 憲一郎 (国立保健医療科学院政策科学部安全科学室)

ゲスト：Timothy B. McDonald, MD JD(Chief Safety and Risk Officer for Health Affairs、
University of Illinois Professor, Anesthesiology and Pediatrics、University of Illinois
College of Medicine at Chicago)

第4会場：会議室608 (会議棟 6階)

9:00～10:00 一般演題：口演 第17群

質・安全と労働環境/業務体制①

座長：川村 治子 (杏林大学保健学部 救急救命学科)

17-1 医療者の過剰業務解消に向けた新たな医療専門職導入のための研究—医療再生のための一方策—

○鈴木 龍太¹⁾、中西 淑美²⁾

¹⁾昭和大学藤が丘病院 医療の質・安全管理室、²⁾大阪大学コミュニケーションデザインセンター

17-2 看護師の人員配置別勤務状況と患者安全に関する研究

○金子 さゆり、濃沼 信夫、伊藤 道哉

東北大学大学院 医学系研究科 医療管理学分野

17-3 人工呼吸器装着時の業務体制 —装着時刻・曜日に関する検討—

○辻 博、川端 千恵子、笹山 真一

黒部市民病院 医療安全管理室

17-4 働く人の健康と職場の安全～S病院化学物質過敏症事件・大阪地裁平成18.12.25判決を契機に～

○川原 由子

熊本学園大学大学院 社会福祉学研究科

17-5 有害事象に対する職員の意識調査

○高梨 典子¹⁾、本間 覚¹⁾、山下 慶三¹⁾、朝田 隆²⁾、笹原 信一郎³⁾、松崎 一葉³⁾、金子 道夫¹⁾

¹⁾筑波大学 附属病院 臨床医療管理部、²⁾筑波大学 附属病院 精神神経科、

³⁾筑波大学 社会環境医学

10:10～11:00 一般演題：口演 第18群

質・安全と労働環境/業務体制②

座長：佐々木 久美子 ((社)日本看護協会)

18-1 カテーテル室看護師の放射線の意識と安全管理

○高橋 明美¹⁾、種田 憲一郎²⁾

¹⁾医療法人社団 東光会 西東京中央総合病院、²⁾国立保健医療科学院 政策科学部

18-2 物品の整理による業務の効率化

○小磯 英里、齋藤 江里子、生方 久子、市川 真臣、富所 順子、神田 大輔、吉永 輝夫、
西田 保二

群馬県済生会前橋病院 回復期病棟

18-3 ナースステーションの配置換えの結果報告(5S作戦)

○中嶋 杏子

府中恵仁会病院

18-4 当院における針刺し事故の動向

○田又 真由美、辻 博、山内 博正

黒部市民病院 感染対策委員会

18-5 当院における「院内暴力」の実態

○田畑 雅央、佐藤 一成、今田 文子、佐々木 司郎、平山 克、林 雅人

JA秋田厚生連 平鹿総合病院

11:10～11:40 一般演題：口演 第19群

ヒューマンファクターズ

座長：清水 秀行 (帝京大学ちば総合医療センター)

19-1 ヒューマンエラー対策の構築に有用な時間分析法の提案

○土屋 仁

国際医療福祉大学 保健医療学部 放射線・情報科学科

19-2 ヒューマンエラーを防止するための薬剤の表示方法の検討(第11報)－PTPシートの表示方法を検討するためのアンケート調査－

○泉谷 聡¹⁾、武内 里早²⁾、大倉 典子²⁾、木村 昌臣²⁾、高池 敏男³⁾、土屋 文人⁴⁾

¹⁾芝浦工業大学大学院 工学研究科 機能制御システム専攻、²⁾芝浦工業大学 工学部 情報工学科、

³⁾アストラゼネカ株式会社、⁴⁾東京医科歯科大学 歯学部附属病院

19-3 ヒューマンエラーを防止するための薬剤の表示方法の検討(第12報)－PTPシートの外観類似性評価方法の検討その2－

○大槻 宜孝¹⁾、泉谷 聡²⁾、大倉 典子¹⁾、土屋 文人³⁾

¹⁾芝浦工業大学 工学部 情報工学科、²⁾芝浦工業大学院 工学研究科 機能制御システム専攻、

³⁾東京医科歯科大学 歯学部付属病院 薬剤部

11:50～12:50 ランチョンセミナー

共催：(株)メディコン

座長：宮坂 勝之 (長野県立こども病院院長)

「血管内留置カテーテル関連合併症の原因と最適なケア」

Lynn Hadaway (Lynn Hadaway Associates, Inc.)

13:00～13:50 一般演題：口演 第20群

質・安全の確保/改善⑥：患者認証システム

座長：坂井 浩美 (日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部)

20-1 点滴バーコード照合実施に向けての改善－看護師による点滴実施照合100%を目指して－

○樋口 一江¹⁾、大貫 紀子²⁾、大柴 幸子²⁾、上野 久子¹⁾、市田 勝¹⁾、鶴見 真理子¹⁾、
篠原 和子¹⁾、河野 龍太郎³⁾、長谷川 剛¹⁾

¹⁾自治医科大学附属病院 医療安全対策部 医療情報部、²⁾自治医大附属病院 医療情報部、

³⁾自治医大 医療安全学

20-2 ユニットプロセス構造化による患者ID間違い分析方法の提案

○佐々木 敬¹⁾、菅原 節子¹⁾、浅野 晃司⁴⁾、小林 進¹⁾、落合 和徳⁵⁾、下野 僚子²⁾、
大室 陽³⁾、水流 聡子²⁾、棟近 雅彦³⁾、飯塚 悦功²⁾

¹⁾東京慈恵会医科大学附属柏病院 医療安全推進室、²⁾東京大学 工学系研究科、

³⁾早稲田大学 理工学術院、⁴⁾東京慈恵会医科大学 医療管理室、

⁵⁾東京慈恵会医科大学附属病院 医療安全管理部

20-3 リストバンドによる患者認証を取り入れて

○白濱 恵子、吉村 公博、荒木 聡

JA愛知厚生連 豊田厚生病院 医療安全対策推進室

14:00～15:00 一般演題：口演 第21群

医療安全管理の取り組み

座長：大井 利夫 (上都賀総合病院)

21-1 医療の質向上における取り組み－医療評価委員会活動の変遷－

○乾 静、元島 昭精

特定・特別医療法人 慈泉会 相澤病院 医療安全推進部

- 21-2** 5年間の臨床検査部リスクマネジメント活動
○八木 和世、河島 江美、佐橋 久美子、吉本 紅子、平田 泰良、棟方 伸
北里大学病院 臨床検査部
- 21-3** 東京医科大学霞ヶ浦病院における安全管理の取り組み
○日高 晴美、福島 友香、柳田 国夫
東京医科大学霞ヶ浦病院 安全管理室
- 21-4** 注射薬関連インシデント報告への病棟薬局開設の影響調査
○木村 知行、志方 敏幸、多田 雅美、山本 憲康、高橋 仁美、門林 宗男、太城 力良
兵庫医科大学病院 医療安全管理部
- 21-5** 急性期病院における院内デイケアによる医療安全の取り組み－認知症患者の昼夜逆転の解消、危険行動の減少の成果を得て－
○大谷 淑美、石川 礼子、江上 洋子、中島 千賀子
半田市立半田病院 医療安全管理室
- 21-6** 無床診療所等における医療安全管理体制構築のための取り組み
○石川 雅彦、児玉 知子、玉置 洋
国立保健医療科学院 政策科学部

15:10～16:10 一般演題：口演 第22群

質・安全の教育/研修医/人材育成⑥

座長：橋本 勉生 (横浜市立大学附属病院 医療安全管理学)

- 22-1** 中心静脈ライン挿入術の安全を高めるための看護師の役割 チーム医療における看護師の役割
○中野 八重美、大竹 美恵子
東京医科大学病院 安全管理室
- 22-2** 輸液ポンプ・シリンジポンプ安全研修の教育効果
○山本 幸恵
医療法人社団愛心会湘南鎌倉総合病院 医療安全管理室
- 22-3** ヒト型患者シミュレーターを用いた人工呼吸器トラブルシューティングの試み～BRTS (Basic Respiratory Trouble Shooting)プログラムの開発～
○川畑 雅照^{1,2)}、大森 正樹¹⁾、荒井 直美¹⁾、中西 成元¹⁾
¹⁾国家公務員共済組合連合会シミュレーションラボセンター、²⁾虎の門病院分院 内科総合診療科
- 22-4** 人工呼吸器装着患者の診療に対する意識調査
和井内 賛、山元 恵子、○東 直子、逸見 哲也
東京北社会保険病院 麻酔科

22-5 気管吸引の現状と問題点から安全性を探る

○本田 弥加¹⁾、前田 和美¹⁾、乾 静²⁾

¹⁾特定・特別医療法人慈泉会 相澤病院 看護部 HCU病棟、

²⁾特定・特別医療法人慈泉会 相澤病院 医療安全推進部

18:10～21:20 ミニコース

全体コーディネータ：花井 恵子 (北里大学病院 医療安全管理室)

セッションコーディネータ：佐々木 久美子 (日本看護協会)

18:10～19:40 C-1：医療過誤の法的責任についての考え方

講師：鈴木 利廣 (すずかけ法律事務所 弁護士)

19:50～21:20 C-2：医療事故発生後の対応～患者側弁護士の立場から

講師：鈴木 利廣 (すずかけ法律事務所 弁護士)

第5会場：会議室703 (会議棟 7階)

9:00～10:00 一般演題：口演 第23群

患者・市民の医療参加

座長：安井 はるみ (神奈川県看護協会 医療安全対策課)

23-1 患者・家族と医療者の視点から医療事故後の適切な対応を考える(1)－患者・家族と医療者の認識のずれの要因を探る方法の検討－

○山内 桂子¹⁾、中原 るり子²⁾、庄子 由美¹⁾、福田 紀子¹⁾、高山 詩穂¹⁾、二瓶 洋子¹⁾、河野 龍太郎³⁾、稲葉 一人⁴⁾

¹⁾リレーション研究会、²⁾東邦大学、³⁾自治医科大学、⁴⁾中京大学法科大学院

23-2 入院中に起きたインシデント・アクシデント事例の退院後のフォローを考える－出来事情報提供用紙を活用して－

○望月 美貴子、三間屋 純一、長谷川 博康、高桑 恵美、飯田 幸子

静岡県立こども病院 医療安全室

23-3 医師と患者相互の要望に対する実行性の検討(第一報)－関東地方におけるある医療機関の事例

○矢上 奈里^{1,2)}、和田 耕治^{2,3)}、石井 誠之²⁾、北川 洋^{2,4)}、栗原 晶子²⁾、清水 美宏²⁾、三井 貴子²⁾、神ノ田 昌博^{2,5)}

¹⁾株式会社エム・アイ・ファシリティズ、²⁾東京大学 医療政策人材養成講座 4期生、

³⁾北里大学 医学部 衛生学 公衆衛生学、⁴⁾東京大学 医学部 呼吸器内科、

⁵⁾慶応大学 医学部 衛生学 公衆衛生学

23-4 医師と患者相互の要望に対する実行性の検討(第二報)－医師から患者への要望と実行可能性

○石井 誠之^{1,2)}、和田 耕治^{2,3)}、北川 洋^{2,4)}、栗原 晶子²⁾、清水 美宏²⁾、三井 貴子²⁾、矢上 奈里²⁾、神ノ田 昌博^{2,5)}

¹⁾東久留米クリニック、²⁾東京大学 医療政策人材養成講座 4期生、

³⁾北里大学 医学部 衛生学 公衆衛生学、⁴⁾東京大学 医学部 呼吸器内科、

⁵⁾慶応大学 医学部 衛生学 公衆衛生学

23-5 患者作成によるヒヤリ・ハット報告に対する看護管理者の認識

○村田 裕美¹⁾、鶴田 恵子²⁾、酒井 美絵子²⁾

¹⁾日本赤十字医療センター、²⁾日本赤十字看護大学

10:10～11:00 一般演題：口演 第24群

学会・行政・業界の役割/取組み

座長：清水 利夫 (国立国際医療センター 戸山病院)

24-1 病院標準化死亡比(Hospital Standardized Mortality Ratio: HSMR)の意義と課題に関する検討

○千原 泉¹⁾、原田 賢治²⁾、宮田 裕章³⁾、遠藤 英樹⁴⁾、上原 鳴夫¹⁾

¹⁾東北大学大学院医学系研究科、²⁾東京大学附属病院、³⁾東京大学大学院医学系研究科、

⁴⁾国立国際医療センター

24-2 国立大学病院附属病院の医療安全・質向上のための相互チェックの経緯と課題

○武田 裕¹⁾、中島 和江¹⁾、團 寛子¹⁾、高橋 りょう子¹⁾、岡田 美紀¹⁾、東堤 忠勝¹⁾、竹村 伸一²⁾

¹⁾国立大学附属病院医療安全管理協議会、²⁾大阪大学医学部附属病院総務課

24-3 国立大学病院放射線部門による医療の質・安全向上への取り組み－ホームページを利用したリスク分析と情報共有－

○東村 享治^{1,2)}、美馬 和男^{2,3)}、矢野 敬一^{2,3)}、梁川 功^{2,4)}、平野 浩志^{2,5)}

¹⁾福井大学 医学部 放射線部、²⁾全国国立大学放射線技師会、³⁾東京大学 医学部 附属病院、

⁴⁾東北大学 医学部 附属病院、⁵⁾信州大学 医学部 附属病院

24-4 愛知県医師会苦情相談関係医師指導講習会の検証

○勝又 一夫¹⁾、宮治 眞²⁾、加藤 憲²⁾、藤原 奈佳子^{2,3)}、天野 寛^{2,4)}、武井 禰明²⁾、横井 隆²⁾、川原 弘久²⁾、柵木 みつあき²⁾、妹尾 淑郎²⁾

¹⁾医療法人勝又病院、²⁾愛知県医師会、³⁾愛知きわみ看護短期大学、⁴⁾愛知新城大谷大学

24-5 暴言・暴力を中心とする愛知県下病院アンケート調査の報告

○宮治 眞¹⁾、加藤 憲¹⁾、藤原 奈佳子^{1,2)}、天野 寛^{1,3)}、小林 三太郎^{1,4)}、勝山 貴美子^{1,5)}、牧 靖典¹⁾、川原 弘久¹⁾、柵木 充明¹⁾、妹尾 淑郎¹⁾

¹⁾愛知県医師会、²⁾愛知きわみ看護短期大学、³⁾愛知新城大谷大学、⁴⁾愛知淑徳大学、

⁵⁾大阪府立大学 看護学部

11:10～11:40 一般演題：口演 第25群

地域医療システムと安全

座長：木村 眞子 (和歌山県立医科大学附属病院)

- 25-1** 大学病院における地域医療連携の問題点 - 各医師会長からのヒアリングを通じて -
○吉田 篤博¹⁾、戸荻 創¹⁾、宮治 眞²⁾、加藤 憲²⁾
¹⁾名古屋市立大学 医療・福祉地域連携室、²⁾愛知県医師会総合政策研究機構
- 25-2** 7対1看護導入前後に見る看護師地域分布の変化
○中村 利仁
北海道大学 大学院 医学研究科 医療システム学分野
- 25-3** 愛知県の医療圏別にみた医療特性
○藤原 奈佳子^{1,2)}、加藤 憲²⁾、宮治 眞²⁾、勝山 貴美子^{2,3)}、小林 三太郎^{2,4)}、天野 寛^{2,5)}、
牧 靖典²⁾、川原 弘久²⁾、柵木 充明²⁾、妹尾 淑郎²⁾
¹⁾愛知きわみ看護短期大学、²⁾愛知県医師会、³⁾大阪府立大学 看護学部、⁴⁾愛知淑徳大学、
⁵⁾愛知新城大谷大学

13:00～13:50 一般演題：口演 第26群

安全文化①

座長：山内 桂子 (東京海上日動メディカルサービス(株) メディカルリスクマネジメント)

- 26-1** 「多職種チーム機能調査票(PACE)」の邦訳・簡易版の開発
○森永 今日子¹⁾、野田 寿恵²⁾、伊藤 弘人²⁾、松尾 太加志³⁾
¹⁾医療安全の心理学研究会、²⁾国立精神・神経センター精神保健研究所 社会精神保健部、
³⁾北九州市立大学文学部
- 26-2** 横断的コミュニケーションの重要性～持参薬管理のシステム構築を通して～
齊藤 支奈子、○木曾 忍、千葉 理実子、金子 友美、堀内 正敏
国家公務員共済組合連合会 三宿病院 医療安全管理室
- 26-3** 医療の質向上に向けての取り組み：外科系術後合併症合同カンファランスの意義
○遠山 信幸、百瀬 ひろこ、水上 由美子
自治医科大学 さいたま医療センター 医療安全管理室
- 26-4** 東神戸病院医局 安全医療への取り組み
○遠山 治彦
東神戸病院 内科

14:00～15:00 一般演題：口演 第27群

安全文化②

座長：信友 浩一 (九州大学大学院)

27-1 医療現場の安全風土とエラー報告件数の関連に関する研究(中間報告)

○松原 紳一

九州大学大学院医学研究院 医療システム学講座

27-2 2007年度安全文化調査報告：非正職員の報告態度

○種田 憲一郎¹⁾、相澤 裕紀²⁾、児玉 知子¹⁾

¹⁾国立保健医療科学院 政策科学部、²⁾日本大学大学院 文学研究科

27-3 医療安全におけるコミュニケーション項目の評価－2007年度安全文化調査より－

○児玉 知子¹⁾、種田 憲一郎¹⁾、相澤 裕紀²⁾

¹⁾国立保健医療科学院 政策科学部 計画科学室、²⁾日本大学大学院文学研究科

27-4 患者安全に医療コミュニケーションが及ぼす影響の検討

○佐藤 美智子^{1,2)}、二瓶 洋子³⁾、関田 康慶¹⁾

¹⁾東北大学大学院 経済学研究科 医療福祉システム講座、²⁾株式会社C-plan、³⁾東北福祉看護学校

27-5 QCサークル活動による職員の意識変化

○神田 大輔、富所 順子、森田 せい子、源内 和子、根橋 一雄、吉永 輝夫、西田 保二、
樋口 次男

群馬県済生会前橋病院

16:00～17:45 第2回 医療安全管理者ネットワーク会議

第6会場：会議室601 (会議棟 6階)

9:00～15:30 一般演題：示説 第28群

[質疑応答：奇数演題番号 13:15～13:45・偶数演題番号 13:45～14:15]

リスクマネジメント

司会：安井 はるみ (神奈川県看護協会 医療安全対策課 課長)

28-1 医療事故情報収集等事業における医療事故情報の報告の現況～人工呼吸器に関連した医療事故に着目して～

○堀口 裕正^{1,2)}、坂井 浩美²⁾、森脇 睦子²⁾、後 信²⁾、野本 亀久雄²⁾

¹⁾東京大学大学院医学系研究科医療経営政策学講座、

²⁾日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部

28-2 医療事故情報収集等事業における医療事故情報の報告の現況～薬剤間違いに関連した医療事故に着目して～

○坂井 浩美¹⁾、森脇 睦子¹⁾、堀口 裕正^{1,2)}、後 信¹⁾、野本 亀久雄¹⁾

¹⁾日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部、

²⁾東京大学大学院医学系研究科医療経営政策学講座

28-3 医療事故情報収集等事業における医療事故情報の報告の現況～化学療法に関連した医療事故に着目して～

○森脇 睦子¹⁾、坂井 浩美¹⁾、堀口 裕正^{1,2)}、後 信¹⁾、野本 亀久雄¹⁾

¹⁾日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部、

²⁾東京大学大学院医学系研究科医療経営政策学講座

28-4 歯科におけるインシデント報告の集計と分析

○三輪 全三¹⁾、宮本 智行¹⁾、馬場 一美¹⁾、森崎 市次郎²⁾、小谷 順一郎³⁾、渋谷 尚武⁴⁾、深山 治久⁵⁾、端山 智弘¹⁾、高橋 民男¹⁾、海野 雅浩¹⁾

¹⁾東京医科歯科大学 歯学部附属病院、²⁾大阪大学 歯学部附属病院、³⁾大阪歯科大学 附属病院、

⁴⁾日本歯科大学 附属病院、⁵⁾鶴見大学 歯学部附属病院

28-5 転倒転落患者事例の背景および使用薬の解析

○大林 恭子^{1,2)}、野本 悦子³⁾、廣村 佳樹⁴⁾、中寫 広美^{1,3)}、永井 弥生¹⁾、山本 康次郎²⁾、倉林 正彦¹⁾、野島 美久⁴⁾

¹⁾群馬大学医学部附属病院 医療安全管理室、²⁾群馬大学医学部附属病院 薬剤部、

³⁾群馬大学医学部附属病院 看護部、⁴⁾群馬大学医学部附属病院 腎臓・リウマチ内科

28-6 患者・家族と医療者の視点から医療事故後の適切な対応を考える(2) 一消毒薬誤注入事故事例の分析一

○中原 るり子¹⁾、山内 桂子²⁾、佐々木 久美子²⁾、田口 智恵美³⁾、杉本 こずえ²⁾、河合 桃代⁴⁾

¹⁾東邦大学、²⁾リレーション研究会、³⁾千葉県健康福祉部県立保健医療大学設立準備室、

⁴⁾財団法人日本医療機能評価機構

9:00～15:30 一般演題：示説 第29群

[質疑応答：奇数演題番号 13:15～13:45・偶数演題番号 13:45～14:15]

医療の質・安全の確保/改善

司会：安井 はるみ (神奈川県看護協会 医療安全対策課 課長)

29-1 患者からの攻撃的行動に対する効果的看護実践 一精神科看護経験を有する熟練看護師への面接調査より一

○鈴木 啓子¹⁾、石野 麗子²⁾、永田 美和子¹⁾、大城 凌子¹⁾、金城 祥教¹⁾

¹⁾名桜大学 人間健康学部 看護学科、²⁾聖隷クリストファー大学 看護学部

29-2 循環器病棟における誤薬を予防する与薬手順の検討 - Failure mode & effects analysis (FMEA)を用いて -

○座波 なぎさ¹⁾、木村 友美¹⁾、割石 由佳¹⁾、根上 牧子¹⁾、恒松 亜紀¹⁾、中原 るり子²⁾

¹⁾財団法人 心臓血管研究所附属病院、²⁾東邦大学 医学部 看護学科

- 29-3** 転倒・転落防止のための夜間入浴の取り組み
○丸山 めぐみ、岩下 結子、要 とし子、小原 圭子
医療法人三州会 大勝病院
- 29-4** アラームマネジメントツールを用いた循環器内科病棟における心拍監視モニターアラームの可視化と考察
○高田 幸千子¹⁾、横山 広行^{1,2)}、内藤 博昭^{1,3)}、野々木 宏²⁾
¹⁾国立循環器病センター 医療安全推進室、²⁾国立循環器病センター 緊急部、
³⁾国立循環器病センター 放射線診療部
- 29-5** 医療安全管理、臨床工学技士の関わり“ME機器アラームのナースコール連動”
○阪梨 悟
医療法人 晋真会 ベリタス病院 臨床工学科
- 29-6** 病院勤務医を対象とした直接観察法による労働時間の実測調査
○金村 政輝^{1,2)}、伊藤 恒敏^{2,3)}、小笠原 博信²⁾、木村 秀樹²⁾、筒井 美穂¹⁾、奈良 正之¹⁾、
長崎 裕¹⁾、藤盛 啓成^{4,5)}、本郷 道夫^{1,2)}
¹⁾東北大学病院 総合診療部、
²⁾元東北大学大学院 医学系研究科 地域医療システム学(宮城県)寄附講座、
³⁾東北大学大学院 医学系研究科 発生生物学分野、
⁴⁾東北大学大学院 医学系研究科 腫瘍外科学分野、⁵⁾東北大学病院 医療安全推進室
- 29-7** 病院勤務医を対象とした業務内容調査の手法開発に関する検討
○種田 憲一郎¹⁾、兼任 千恵²⁾、武林 亨³⁾
¹⁾国立保健医療科学院 政策科学部 安全科学室、²⁾東京大学大学院 医学系研究科 公衆衛生学、
³⁾慶應義塾大学 医学部 衛生学公衆衛生学
- 29-8** 歯科における医療安全対策ガイドライン
○海野 雅浩¹⁾、馬場 一美²⁾、宮本 智行¹⁾、三輪 全三¹⁾、森崎 市治郎³⁾、深山 治久⁴⁾、
鵜澤 成一¹⁾、和達 礼子¹⁾、土屋 文人¹⁾、嶋田 昌彦¹⁾
¹⁾東京医科歯科大学 歯学部附属病院、²⁾昭和大学 歯科病院、³⁾大阪大学 歯学部附属病院、
⁴⁾鶴見大学 歯学部附属病院

9:00～15:30 一般演題：示説 第30群

[質疑応答：奇数演題番号 13:15～13:45・偶数演題番号 13:45～14:15]

医療の質・安全と教育/研修

司会：安井 はるみ (神奈川県看護協会 医療安全対策課 課長)

30-1 安全意識向上への取り組み【タッチ&コール】

- 鈴木 一己¹⁾、正木 康代¹⁾、成田 信仁¹⁾、鈴木 克実¹⁾、古田 康之^{2,3)}、永井 淳子²⁾、
元吉 喜信²⁾、ウォーン ポール²⁾、佐々木 忠徳²⁾
¹⁾亀田メディカルセンター 薬剤部、²⁾薬剤管理部、³⁾医療安全管理室

- 30-2** 医療職の医療安全に対する認識の違いー医療安全文化の視点からー
○舟崎 起代子¹⁾、一ノ山 隆司²⁾、上野 栄一³⁾、上木 礼子³⁾、明神 一浩⁴⁾、泉 朱子⁵⁾、
境 美代子⁵⁾
¹⁾富山市民病院、²⁾富山福祉短期大学、³⁾福井大学、⁴⁾谷野呉山病院、⁵⁾西能病院
- 30-3** 安全文化醸成に向けた医療安全管理者の役割に関する研究
○森山 美紀
慶應義塾大学病院
- 30-4** 個人情報保護に関する言語聴覚士学外臨床実習前教育プログラムの構築ー個人情報管理における事故・インシデントの発生状況調査ー
○原 修一¹⁾、飯干 紀代子¹⁾、山田 弘幸¹⁾、今給黎 禎子¹⁾、藤原 雅子¹⁾、中山 翼¹⁾、
森田 浩²⁾、笠井 新一郎¹⁾、倉内 紀子¹⁾
¹⁾九州保健福祉大学 保健科学部 言語聴覚療法学科、
²⁾独立行政法人 労働者健康福祉機構 新潟労災病院 リハビリテーション科
- 30-5** 新卒看護師のインシデントの経験ーグループインタビュー法を用いてー
○杉山 優果¹⁾、中原 るり子²⁾
¹⁾東邦大学医療センター大橋病院、²⁾東邦大学医学部看護学科
- 30-6** 看護師の点滴管理における危険予測とクリティカルシンキングとの関連
○布施 淳子
山形大学 医学部 看護学科
- 30-7** リスク感性向上のためOJTプログラムが継続できるシステム化への試みー事故防止モニターグループ活動にOJTを導入してー
○水沼 健太郎¹⁾、奈良 亜希¹⁾、平田 亜希子¹⁾、平 奈津恵¹⁾、照井 洋子²⁾
¹⁾独立行政法人国立病院機構宮城病院、²⁾独立行政法人国立病院機構西多賀病院
- 30-8** 看護職者の医療事故当時者体験に伴う心理的動揺(ダメージ)と事故の受け止め(学習)の関連
○林 千加子¹⁾、山田 隆子²⁾、山本 奈奈³⁾、米井 昭智⁴⁾、横手 芳恵²⁾
¹⁾川崎医療短期大学 看護科、²⁾岡山県立大学 保健福祉学部 看護学科、
³⁾岡山県立大学院 保健福祉学研究科、⁴⁾財団法人 倉敷中央病院 麻酔科
- 30-9** ポートフォリオ評価を活用した医療安全推進担当者への教育
○芦立 ひろ子¹⁾、安川 仁子²⁾
¹⁾独立行政法人 国立病院機構 岩手病院、²⁾大成学院大学 看護学部、³⁾東北GRM研究会
- 30-10** プリパレーションツールが子どもに与える影響について
○北野 華子
慶應義塾大学 環境情報学部

18:10～21:20 ミニコース

全体コーディネータ：花井 恵子 (北里大学病院 医療安全管理室)
セッションコーディネータ：荒井 有美 (北里大学病院 医療安全管理室)

18:10～19:40 A-1：個別事例分析手法1：個別事例の分析手法の潮流

講師：重森 雅嘉 ((財)鉄道総合技術研究所)

19:50～21:20 A-2：個別事例分析手法3 (事故の構造に基づく分析手法：Medical SAFER)

講師：河野 龍太郎 (自治医科大学医学部メディカルシュミレーションセンター)

第7会場：会議室604 (会議棟 6階)

9:00～15:30 実践報告1

[質疑応答：奇数演題番号 13:15～13:45・偶数演題番号 13:45～14:15]

リスクマネジメント

司会：横井 郁子 (東邦大学医学部看護学科高齢者看護学 教授)

31-1 朝日大学歯学部附属病院におけるインシデントレポート

○式守 道夫、倉知 正和、松本 敏

朝日大学 歯学部 附属病院

31-2 開業歯科医療機関におけるインシデントアンケート

○式守 道夫、倉知 正和、松本 敏

朝日大学 歯学部 附属病院

31-3 障害者歯科におけるインシデント事例の分析

○梅崎 伸子¹⁾、三浦 雅明¹⁾、白石 葉子¹⁾、関根 由美子¹⁾、山地 知子¹⁾、宮本 智行²⁾、
三輪 全三³⁾、深山 治久⁴⁾、海野 雅浩²⁾

¹⁾埼玉県総合リハビリテーションセンター 歯科診療部、

²⁾国立大学法人 東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 麻酔・生体管理学分野、

³⁾東京医科歯科大学 歯学部附属病院 育成系診療科、⁴⁾鶴見大学 歯学部 歯科麻酔学講座

31-4 インシデントをきっかけとした業務改善を行って 注射ワークシート確認業務から見えてきたこと

○梶谷 かおり

東北大学病院 西9階病棟

31-5 看護手順の監査の実施と医療安全からみた課題－監査表を用いた自己評価から－

○加藤 千恵¹⁾、塩田 美佐代²⁾

¹⁾NTT東日本東北病院 看護部 リスクマネジメント委員会 委員長、

²⁾NTT東日本東北病院 看護部 副看護部長

9:00～15:30 実践報告2

[質疑応答：奇数演題番号 13:15～13:45・偶数演題番号 13:45～14:15]

医療の質・安全の確保/改善

司会：横井 郁子 (東邦大学医学部看護学科高齢者看護学 教授)

32-1 安全で効果的に身体拘束解除ができた事例

水口 果奈、○田中 茉緒、松本 麻衣
京都大学 医学部 付属病院

32-2 手術室におけるバーコードによる患者認証システムの導入と今後の課題

○濱田 和代、五百蔵 智明、植田 多恵子、森本 敦子、喜多 良昭、最所 裕司、岩佐 修、
山崎 よし子、赤松 信雄
姫路赤十字病院 医療安全推進室

32-3 電子カルテによる患者認証システムの効果と問題点

○植田 多恵子、五百蔵 智明、濱田 和代、森本 敦子、喜多 良昭、最所 裕司、岩佐 修、
山崎 よし子、赤松 信雄
姫路赤十字病院 医療安全推進室

32-4 リスク低減に向けての5S (整理・整頓・清掃・清潔・躰) 活動の取り組み

○遠田 光子
宇都宮社会保険病院 医療安全管理室

32-5 新卒看護師の内服与薬忘れ防止キャンペーンの効果

○伊東 未代¹⁾、小堂 弘子²⁾、兼子 あゆみ²⁾、中原 るり子³⁾、竹内 千恵子³⁾
¹⁾東邦大学 法人本部 看護企画室、²⁾東邦大学医療センター 大森病院、
³⁾東邦大学 医学部 看護学科

32-6 安全で正確な与薬業務を目指して～薬剤師による与薬セットの実施～

○正木 銀三¹⁾、平野 一美²⁾、犬飼 政美²⁾、後藤 敏也¹⁾
¹⁾磐田市立総合病院 薬剤部、²⁾医療安全推進室

32-7 形成外科顕微鏡下手術における針の紛失対策への取り組み～マグネットシートを取り入れた方法を実践して～

○平野 めぐみ、林 直子
都立広尾病院 看護部 看護科

32-8 患者用「転倒・転落防止DVD」の作成とその活用の試み～「医療安全への患者参加」の視点から～

○山内 桂子¹⁾、本山 和子¹⁾、青木 孝子¹⁾、千田 清美²⁾、岩元 了子²⁾、平井 純子³⁾、
飯尾 美紀³⁾、近藤 由香里⁴⁾、望月 明美⁴⁾、大水 美名子⁵⁾
¹⁾東京海上日動メディカルサービス株式会社、²⁾今給黎総合病院、³⁾横浜市民市民病院、
⁴⁾千葉徳洲会病院、⁵⁾東京慈恵会医科大学附属病院

32-9 針刺し事故防止機構付き留置針導入の問題点と効果について

○玉木 茂久¹⁾、中井 和子¹⁾、津田 和彦¹⁾、加納 敬之²⁾、村下 尊人³⁾、村林 紘二^{1,4)}

¹⁾山田赤十字病院、²⁾テルモ(株)津支店、³⁾テルモ(株)医療器開発技術課、⁴⁾院長

9:00～15:30 実践報告3

[質疑応答：奇数演題番号 13:15～13:45・偶数演題番号 13:45～14:15]

医療の質・安全と教育/研修

司会：横井 郁子(東邦大学医学部看護学科高齢者看護学 教授)

33-1 新人看護職員の看護技術経験を高める卒後臨床研修

○河嶋 知子、伊藤 恵子

星ヶ丘厚生年金病院 看護局

33-2 看護基礎教育と臨床現場との乖離を埋める新人教育体系の構築—侵襲を伴う看護技術を不安なく乗り切るための取り組み—

○伊藤 香代

津島市民病院 看護局

33-3 当院における新人安全研修の取り組み

○長濱 ゆかり、鉢嶺 綾乃

医療法人 敬愛会 中頭病院

33-4 医療安全管理部における学生臨床実習の取り組み

○坂口 美佐

滋賀医科大学

33-5 新人看護師研修に危険予知トレーニングを実施して

○織田 洋子

津島市民病院

33-6 エラー自己診断チェック表を活用した安全研修

長濱 ゆかり、○鉢嶺 綾乃

医療法人 敬愛会 中頭病院

第8会場：ロビー A (会議棟 7階)

9:00～15:00 ベストトリアル

[質疑応答：奇数演題番号 10:30～11:00・偶数演題番号 11:00～11:30]

- BT-1** KYパネルを用いたチームの危機管理能力向上への取り組み
○高垣 麻衣
順天堂大学 医学部附属 順天堂医院 看護部
- BT-2** 薬剤部門システムにおけるフォルト・トレランス(耐障害性)の応用
○岡橋 孝侍、三上 正
京都第二赤十字病院 薬剤部
- BT-3** 限りなく安全を目指した与薬システム～静脈認証・バーコードシステムを用いて～
○山下 ひとみ、松澤 伸治、山下 智之、平田 耕太郎
医療法人 久康会 平田病院
- BT-4** 電子カルテの文字検索機能を用いた患者特定
○根本 良介、松本 美智子、黒阪 佐美代、皆川 昇司
鳥取県立中央病院 医療安全対策室
- BT-5** 周術期肺血栓塞栓症に対するリスクマネジメント
○井隼 彰夫¹⁾、江守 直美²⁾
¹⁾福井大学 医学部 医療倫理・医療安全学、²⁾福井大学医学部附属病院 医療安全管理部
- BT-6** リスク感性向上に向けてのKYTへの取り組み
○野口 明子
半田市立 半田病院
- BT-7** 歯科医療に関するインシデント事例とその分類
○宮本 智行¹⁾、三輪 全三¹⁾、馬場 一美²⁾、森崎 市治郎³⁾、小谷 順一郎⁴⁾、渋谷 尚武⁵⁾、
岡田 大蔵¹⁾、和達 重郎¹⁾、倉林 亨¹⁾、海野 雅浩¹⁾
¹⁾東京医科歯科大学 歯学部附属病院、²⁾昭和大学 歯科病院、³⁾大阪大学 歯学部附属病院、
⁴⁾大阪歯科大学 附属病院、⁵⁾日本歯科大学 附属病院
- BT-8** 耐水性センサを利用した患者認証システム
○福原 昇
相模原協同病院 放射線科
- BT-9** 薬剤(特に睡眠薬)が関連した転倒・転落事故調査－転倒・転落事故の低減が図れるか検討するための試行－
○山本 陽子、中野 眞里子、松岡 好美、向井 淳治
和泉市立病院 看護部

- BT-10** 当院における転倒転落予防の取り組み
長濱 ゆかり、○島袋 葉子、當山 絹江
医療法人 敬愛会 中頭病院
- BT-11** しびれによる転倒転落防止への取り組みーオリジナルのしびれのスケールと転倒転落アセスメントスコアシートの作成
○佐々木 美香¹⁾、引木 陽子¹⁾
¹⁾岩手県立中央病院 看護部 4東病棟、²⁾岩手県立沼宮内病院
- BT-12** ユニットドーズシステム導入後の誤薬発生件数の比較
Unit Dose System Prevents Misadministration of Oral Medicine
○荒木 みゆき、山本 直子、脇谷 緑、木西 實
三田市民病院
- BT-13** 病棟におけるインシデントレポートを活かす取り組みpart2ー事例対応計画書をインシデントレポートに添付してー
○竹村 久美子、竹本 さと子、松下 恵子、新田 通子、森 礼奈、任 貞美、岡部 悠、山本 奈緒、渡辺 舞子、濱田 有紀
大阪赤十字病院 11階B病棟
- BT-14** RFMEAを活用した業務プロセス改善とその管理システム
○平野 佳穂¹⁾、西川 武一郎²⁾、鳥居 健太郎²⁾
¹⁾東芝林間病院、²⁾東芝 研究開発センター
- BT-15** 複数の注射業務工程にまたがるオカレンス発生病棟への介入の効果
○江守 直美¹⁾、井隼 彰夫²⁾、石川 一美¹⁾
¹⁾福井大学医学部附属病院 医療環境制御センター 医療安全管理部、
²⁾福井大学 医学部 医療倫理・医療安全学
- BT-16** 西淀病院転倒転落対策チームの活動報告ーマニュアル改訂と院内ラウンドの取り組みー
○河瀬 留美¹⁾、清水 昌代²⁾、村島 真澄²⁾、済木 裕美子²⁾、田野 こずえ²⁾、上田 ゆみ²⁾、藤野 ふさ子²⁾、清水 孝紀²⁾、浜守 和奈²⁾、小林 誠¹⁾
¹⁾西淀病院、²⁾西淀病院 転倒転落対策チーム
- BT-17** 客観的な睡眠情報を用いた、回復期病棟の取り組みについてー『眠りSCAN』による睡眠データの可視化を元にー
工藤 泰央¹⁾、○大橋 悠介²⁾、三島 誠一²⁾、北村 和宏³⁾、八木 教仁¹⁾、滝沢 礼子¹⁾、高橋 肇¹⁾、土屋 智久⁴⁾、長岡 浩⁴⁾、西村 泰昭⁵⁾
¹⁾特定医療法人社団 高橋病院 法人情報システム室、
²⁾特定医療法人社団 高橋病院 リハビリテーション科、³⁾特定医療法人社団 高橋病院 看護部、
⁴⁾パラマウントベッド株式会社 製品戦略室、⁵⁾パラマウントベッド株式会社 開発部
- BT-18** 安全な中心静脈カテーテル挿入手技のための超音波の利用と教育システムの構築
○徳嶺 譲芳¹⁾、安谷 正²⁾、名嘉眞 陽平³⁾
¹⁾沖縄北部地区医師会病院 麻酔科、²⁾沖縄県立中部病院 放射線科、³⁾久留米大学病院 外科

- BT-19** 「病棟ラウンド+KYT」の効果を上げるための動画教材導入の検証
○山口 智春
独立法人 労働者健康福祉機構 長崎労災病院 医療安全管理室
- BT-20** 専従セーフティマネージャーを担う薬剤師の役割
○古田 康之、鈴木 一二三、高橋 静子、夏目 隆史
亀田メディカルセンター 医療安全管理室
- BT-21** 転倒転落事故予防に向けた入院患者の起き上がり動作分析
○茂木 学¹⁾、松村 成宗¹⁾、平澤 桂一³⁾、山田 智広¹⁾、武藤 伸洋¹⁾、大久保 由美子²⁾、森田 佳子²⁾、葛西 圭子²⁾、山元 友子²⁾、落合 慈之²⁾
¹⁾日本電信電話株式会社 NTTサイバーソリューション研究所、²⁾NTT東日本関東病院、³⁾NTTコミュニケーションズ株式会社
- BT-22** 入院患者の持参薬調査分析による医薬品安全管理システムの構築
○三島 裕彦、中野 敦久、松雄 公子
医療法人讃和会 友愛会病院 診療技術部薬剤科
- BT-23** 亀田メディカルセンターにおける施設内危険箇所への安全対策
○古田 康之¹⁾、間宮 庄治²⁾、鎌田 英典²⁾、鈴木 一二三¹⁾、高橋 静子¹⁾、夏目 隆史¹⁾
¹⁾亀田メディカルセンター 医療安全管理室、²⁾施設管理課
- BT-24** 浴室内での患者の安全を守る！腕時計送信機の活用！
○雨森 貞子、佐野 雄三
愛知県がんセンター中央病院 看護部
- BT-25** 千葉県における調剤重篤事故の再発防止に向けた取組み・・・フェイル・セーフ機能を持ったツールの開発と効果検証トライアル・・・
○小茂田 昌代^{1,2)}、佐藤 大地¹⁾、大谷 真理子¹⁾、倉橋 祥子¹⁾、成田 勇樹¹⁾、幸田 真純²⁾、飯嶋 久志²⁾、黄 栄吉²⁾
¹⁾東京理科大学 薬学部、²⁾千葉県薬剤師会 医療安全管理委員会

第9会場：ロビー B (会議棟 7階)

9:00～15:00 ベストプラクティス

[質疑応答：奇数演題番号 10:30～11:00・偶数演題番号 11:00～11:30]

- BP-1** 抗がん剤によるショックおよび血管外漏出に対する対応手順のマニュアル化とレスキューセットの整備による院内標準化への取り組み
○岸本 真¹⁾、砂田 和幸²⁾、中村 祐子³⁾、松枝 文子³⁾、猪俣 千代子⁴⁾、三阪 高春⁵⁾
¹⁾霧島市立医師会医療センター 薬剤部、²⁾薬剤部、³⁾看護部、⁴⁾クオリティーマネジメント室、⁵⁾診療部

BP-2 抑制アセスメントフローチャート作成への取り組み～倫理的側面を考慮して～
○西 奈緒、高橋 みき、山下 直美
東京医科歯科大学 医学部附属病院 救命救急センター

BP-3 医療安全対策推進における事務部門の役割
○加藤 健¹⁾、藤原 喜美子¹⁾、浅野 晃司²⁾、落合 和徳¹⁾
¹⁾東京慈恵会医科大学附属病院 医療安全管理部 医療安全推進室、
²⁾東京慈恵会医科大学 医療管理室

BP-4 インシデントを現場で解決する取り組み
○清田 智子¹⁾、松嶋 麻子²⁾、京力 深穂¹⁾、田崎 修¹⁾
¹⁾大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター、²⁾社会保険中京病院 救急科

BP-5 当院における過去7年間の医療事故防止対策の検討－医療安全文化確立の評価－
○黒木 秀尚
府中市立 府中北市民病院

BP-6 大腿骨頸部骨折予防ヒッププロテクター装着条件の検討－転倒インシデントレポート
分析と新しい転倒リスクスケールの考案－
○小室 元¹⁾、大森 美和子²⁾、渕上 望²⁾、林 えりか²⁾、諏訪 照美²⁾、清水 由紀子³⁾
¹⁾関西医科大学 附属枚方病院 整形外科、²⁾関西医科大学 附属枚方病院 整形外科病棟、
³⁾関西医科大学 附属枚方病院 医療安全部

BP-7 国立大学病院における手術室タイムアウトの導入
○大川 淳¹⁾、小松 佳子²⁾
¹⁾東京医科歯科大学 大学院 医歯学総合研究科 臨床医学教育開発学、
²⁾東京医科歯科大学 医学部附属病院 安全管理対策室

BP-8 名古屋大学医学部附属病院における救急カート標準化の試み
○山口 弘子¹⁾、高橋 英夫²⁾、宮田 はるみ³⁾、相馬 孝博³⁾、三浦 昌子⁴⁾
¹⁾名古屋大学 医学部 附属病院 集中治療部、²⁾名古屋大学大学院医学研究科 救急集中治療医学、
³⁾名古屋大学医学部附属病院 医療の質安全管理室、⁴⁾名古屋大学医学部附属病院 看護部

BP-9 医療安全管理ブック第2版の作成
○元吉 喜信¹⁾、鈴木 一二三²⁾、古田 康之²⁾、高橋 静子²⁾、夏目 隆史²⁾
¹⁾亀田メディカルセンター 医療安全検討部会(薬剤管理部)、
²⁾亀田メディカルセンター 医療安全管理室

BP-10 新人看護師への安全教育～自作ビデオを用いた安全教育への取り組み～
○宮川 朋子
熊本赤十字病院 看護部

BP-11 大腿動脈穿刺モデルの開発と試作マネキンを使用した動脈穿刺シミュレーショント
レーニング
○高田 幸千子¹⁾、川村 淳²⁾、内藤 博昭^{1,3)}、野々木 宏⁴⁾
¹⁾国立循環器病センター 医療安全推進室、²⁾前国立循環器病センター CCU、
³⁾国立循環器病センター 放射線診療部、⁴⁾国立循環器病センター 緊急部

- BP-12** 模擬患者による医療安全研修
○岡部 喜美栄
京都民医連第二中央病院
- BP-13** 当院の医療機器安全使用の為に院内研修会への取り組み
○熊谷 一治¹⁾、片山 弓子¹⁾、佐藤 貴史¹⁾、久保田 浩光¹⁾、小山 祐一¹⁾、石橋 悟²⁾、
内海 まり子³⁾
¹⁾石巻赤十字病院 医療技術部 臨床工学技術課、²⁾石巻赤十字病院 医療技術部、
³⁾石巻赤十字病院 医療安全推進室
- BP-14** 視覚的教材を用いた感染防止教育への取り組み
○黒川 雅代、福江 由美子
産業医大学病院 看護部感染防止リンクナース会
- BP-15** 危険を伴う看護手技の教材作成と活用－画像とUdポイントの作成－
山元 恵子¹⁾、○風間 敏子¹⁾
¹⁾東京北社会保険病院 医療安全管理室、²⁾東京北社会保険病院 看護部
- BP-16** チューブトラブル低減のためのテープ標準化への取り組み－看護の質の保証とコスト削減の視点から－
○深川 直美、上中 香代子、福田 直子
産業医科大学病院 看護部
- BP-17** オーダリングシステム改善による調剤エラー軽減効果
The effect of Ordering System improvements to Reduce Errors in Preparation
○鈴木 清志
埼玉県 総合リハビリテーションセンター 薬剤科
- BP-18** 病棟担当薬剤師による与薬支援業務の展開とその評価 ～入院処方薬ならびに持参薬管理に対する薬剤部の取り組み～
○生城山 勝巳^{1,2)}、小林 由季²⁾、長尾 和加子²⁾、片桐 剛²⁾、栗木 慈子²⁾、北野 亜希子²⁾、
梅宮 由美²⁾、平田 司²⁾、和喜多 知江²⁾、岩城 千帆²⁾
¹⁾千葉科学大学 薬学部 臨床薬理学研究室、²⁾医療法人社団 普照会 井上記念病院 薬剤部
- BP-19** 人工股関節術後に脱臼肢位を取ることなく安全に靴下が履ける自助具 「スルッとはける君」
○舐村 和美、坂口 恵梨子、小西 恵
宝塚市立病院 看護部
- BP-20** インシデントの減少を目的とした抑制具作成への取り組み
高橋 みき、西 奈緒、○山下 直美
東京医科歯科大学 医学部附属病院 救命救急センター

BP-21 安全なトイレを目指して(医療機関と企業の連携)(第2報)

○齋藤 晶¹⁾、杉山 良子²⁾、坪井 ちえみ¹⁾、川又 和美¹⁾、黒川 美知代²⁾、賀来 尚孝³⁾、鈴木 昭子³⁾、牟田 邦彦⁴⁾

¹⁾埼玉社会保険病院、²⁾武蔵野赤十字病院、³⁾TOTO(株) 商品企画推進部病院水まわりチーム、⁴⁾(株)ケアコム

BP-22 ヒューマンエラーから改善へネブライザー療法の院内標準化

In - House Standardization of NephriizerTherapy to Prevent Human Errors

○篠原 裕子、伊澤 敏、渡辺 仁、木村 哲郎、大浦 也明、竹内 玲子、土屋 留美、川村 佳子、中村 千尋

JA長野厚生連 佐久総合病院

BP-23 チームで取り組むせん妄対策～看護師と薬剤師との相互協力～

濱中 努¹⁾、○内川 晶裕¹⁾、井上 徹雄¹⁾、森田 泰子²⁾、黒田 恵子²⁾、藤田 美幸²⁾、福田 有希²⁾、村上 洋子²⁾、服部 美津代²⁾、山田 則夫³⁾

¹⁾医療法人社団 新日鐵広畑病院 薬剤部、²⁾医療法人社団 新日鐵広畑病院 看護部、³⁾医療法人社団 新日鐵広畑病院 神経内科

BP-24 インシデント管理システムを用いた安全プロセスフローの展開

○高橋 静子^{1,2)}、三上 昌代²⁾、鈴木 一二三¹⁾、古田 康之¹⁾、夏目 隆史¹⁾

¹⁾亀田メディカルセンター 医療安全管理室、²⁾亀田メディカルセンター QMS事務局

会議室702 (会議棟 7階)

9:30～11:00 実技セミナー

共催：カルメル・ファルマ・ジャパン(株)

「ファシールシステム導入への取り組み ～安全管理意識の向上を目指して～」

講演：矢野 琢也 (住友別子病院 薬剤部 注射薬主任 がん薬物療法認定薬剤師)

実技：閉鎖系薬剤混合器具 (PhaSealシステム) による調製と投与の実際